

問1

東北地方の日本海側に位置する都市の気候統計に見られる特徴として、正しいものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）

1. 冬の季節風の影響を強く受けるため、1月の降水量は100mmを超えることが多く、北部の地域では1月の平均気温が氷点下になる。

2. 暖流である日本海海流の影響を強く受けるため、1月の平均気温は5度を上回り、雪ではなく雨が多く降る。

3. 季節風が奥羽山脈によって遮られるため、1月の降水量は100mm未満となり、冬は乾燥して晴天の日が多くなる。

4. 冷害の原因となる「やませ」の影響を強く受けるため、1月の平均気温は氷点下にはならないが、8月の平均気温が24度未満になることが多い。

問2

東北地方の地形について、中央部の南北に走る奥羽山脈と、その東側に位置する北上山地の特徴を比較した記述として正しいものはどれか。（2023年 愛媛県公立入試 類似）

1. 奥羽山脈は標高が低くならかな高原であり、北上山地は火山活動が盛んな険しい山脈である。

2. 奥羽山脈は東北地方の西側に位置して日本海に面しており、北上山地は中央部を南北に走っている。

3. 奥羽山脈は火山が多く含まれる険しい山脈であり、北上山地は比較的広くならかな高原状の地形である。

4. 奥羽山脈はリアス海岸を形成する原因となっており、北上山地は日本最長の山脈として中央部を貫いている。

問3

日本の各地域における農業産出額の品目別割合を比較したとき、米の割合が約35%に達し、提示された他の地域と比べて米の比率が極めて高いという特徴を持つ地域はどこですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

1. 近畿地方

2. 東北地方

3. 九州地方

4. 関東地方

問4

東北地方に位置し、人口が約230万人で、県庁所在地の人口が100万人を超える県があります。この県の東部に見られる、山地から平野へ出る付近に形成された扇状地の特徴と、そこで発展している産業の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2021年 東京都公立入試 類似）

1. 火山灰が堆積した土地でのサツマイモ栽培

2. 広大な泥炭地を活用した大規模な稲作

3. 乾燥した気候を活かしたブドウや桃の果樹栽培

4. 豊富な水資源を活用した医薬品製造

問5

東北地方の物流に関する統計において、国内貨物海上輸送量が約六千五百四十一千トンに達し、東北六県の中で二番目に多い数値を示している県はどこですか。その県の産業的特徴とあわせて選びなさい。（2026年 岡山県公立入試 類似）

1. さくらんぼの生産が盛んで、内陸工業が発達している山形県

2. 漁業生産量と果実産出額が共に全国上位五位以内の青森県

3. 米の生産量が全国有数で、日本海に面した秋田県

4. 桃の産出額が多く、京浜葉工業地帯に近い福島県

問6

ある統計資料において、海岸線の延長が約167km、隣接する県の数が6つと示されている福島県の地理的状況について述べた文として、適切なものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 東北地方の南端に位置し、同じ地方の県のほかに、関東地方の3県や中部地方の新潟県とも境を接している。

2. リアス海岸が複雑に入り組んでいるため、実際の県域の広さに比べて海岸線の延長が非常に長くなっている。

3. 日本海と太平洋の両方に面しているため、隣接する県の数が東北地方の中で最も少なくなっている。

4. 県域のすべてが奥羽山脈の西側に位置する内陸県であるため、実際には海岸線を持っていない。

問7

東北地方南部に位置する福島県では、高速道路の沿線などに「工業団地」が多く造成されている。このように、福島県で内陸部の工業が発展した背景として最も適切な説明はどれか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 大規模な稲作を行うための広大な土地が不足しており、農業から工業への転換を急いだため。

2. 内陸部は海沿いに比べて冬の降雪量が非常に少なく、工場の操業を安定させやすいため。

3. 高速道路などの交通網を利用することで、東京などの大都市圏へ製品を迅速に輸送できるため。

4. リアス海岸を利用した港湾施設が未発達であり、陸上輸送に頼らざるを得ないため。

問8

東北地方の地方中枢都市として機能し、周囲の自治体から通勤・通学者が多く流入するために昼間人口割合が100%を超えている一方、大規模な重化学工業地域を持たないため工業製造品出荷額が比較的少ない政令指定都市はどこですか。（2025年 熊本県公立入試 類似）

1. 仙台市

2. 京都市

3. 堺市

4. 広島市

問9

本州の最北端に位置する青森県と、北海道との間を隔てている海峡は、日本海と太平洋を結ぶ重要な水域となっています。この海峡の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 関門海峡

2. 津軽海峡

3. 宗谷海峡

4. 対馬海峡

問10

宮城県の県庁所在地である仙台市は、年間商品販売額が東北地方の中で突出して高いという特徴がある。このような経済的特徴を持つ背景として、仙台市が果たしている都市としての役割を説明したものとして最も適切なものはどれか。（2021年 宮城県公立入試 類似）

1. 古くからの歴史的な街並みを保存し、観光客の誘致を主目的とした観光都市として発展している。

2. 広大な平野を活用した大規模な稲作が行われ、東北最大の米の集散地として機能している。

3. 大規模な石油化学コンビナートが形成され、重化学工業の製品出荷が産業の中心となっている。

4. 多くの企業が支店や営業所を置き、東北地方全体の経済を管理する拠点となっている。

問11

都市の人口構造を示す指標の一つに「昼夜間人口比率」があります。この比率が100を下回る地域（夜間人口が昼間人口を上回る地域）において、一般的に見られる社会現象について述べたものはどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）

1. 郊外の住宅地において、日中の地域コミュニティの維持や防犯活動の担い手が不足する現象。

2. 観光地において、宿泊客の増加により夜間の人口が一時的に昼間の観光客数を上回る現象。

3. 工業団地において、夜間勤務の労働者が増えることで24時間営業の店舗が急増する現象。

4. 都心のオフィス街において、夜間の火災や災害時に救助活動を行う定住者が不足する現象。

問12

近年、内陸部において高速道路のインターチェンジ付近に「工業団地」が造成され、工場が進出するケースが増えています。その立地理由として最も適切なものはどれですか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 原材料の輸入や製品の輸出に便利、大型船が入る港湾が近いため

2. 周辺に大消費地があり、製品を直接消費者に販売しやすいため

3. 古くから豊富な地下資源があり、燃料の調達が容易であるため

4. 高速道路を利用したトラック輸送など、交通の便が良いため

問13

仙台市の気象統計において、1993年の7月から8月にかけての月別平均気温が、過去30年間の平年値を大きく下回る記録的な冷夏となりました。この低温現象の主な要因となった、オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東の風を何と呼びますか。（2022年 愛媛県公立入試 類似）

1. フェーン

2. からっ風

3. 季節風（モンスーン）

4. やませ

答え合わせ・解説

問1	答え 1 冬の季節風の影響を強く受けるため、1月の降水量は100mmを超えることが多く、北部の地域では1月の平均気温が氷点下になる。	東北地方の日本海側の気候は、冬の季節風によってもたらされる雪の影響で、冬（1月）の降水量が他の地域に比べて多くなるのが大きな特徴です。特に山地や北部では1月の平均気温が氷点下となり、積雪量も多くなります。「1月の降水量が100mm未満」や「8月の平均気温が24度未満（やませの影響）」といった選択肢は、東北地方の太平洋側の気候的特徴と混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 3 奥羽山脈は火山が多く含まれる険しい山脈であり、北上山地は比較的古くならかな高原状の地形である。	東北地方の中央を走る奥羽山脈は、火山帯が重なり急峻な山々が連なるのが特徴です。一方、その東側（太平洋側）にある北上山地は、古い地層からなり、長年の浸食によってなだらかな高原状の地形が広がっています。この地形の差は、農業や土地利用の仕方の違いにも繋がっています。
問3	答え 2 東北地方	日本の「穀倉地帯」と呼ばれる東北地方は、広大な平野を活用した稲作が盛んです。農業産出額の構成において、全国平均と比較しても米の占める割合が高いのが最大の特徴です。一方で、九州地方は畜産の割合が、関東地方は近郊農業の影響で野菜の割合が高くなる傾向にあります。
問4	答え 4 豊富な水資源を活用した医薬品製造	宮城県の東部には、山地から平野部にかけて土砂が堆積してできた扇状地が広がっています。この地形では河川や地下水などの水資源が豊富に得られるため、その良質な水を利用した医薬品製造拠点が数多く立地しています。県庁所在地の仙台市は、東北地方で唯一の政令指定都市として100万人以上の人口を抱えています。
問5	答え 2 漁業生産量と果実産出額が共に全国上位五位以内の青森県	青森県は、東北地方において第2位となる六千五百四十一千トンの国内貨物海上輸送量を記録しており、海上輸送の拠点としての役割を担っています。これは、同県が全国五位以内に入る漁業生産量や果実産出額を支える重要な物流基盤となっており、生産と輸送の両面で東北の産業を牽引していることを示しています。
問6	答え 1 東北地方の南端に位置し、同じ地方の県のほかに、関東地方の3県や中部地方の新潟県とも境を接している。	福島県は、北は宮城・山形、西は新潟、南は茨城・栃木・群馬の各県と隣接しています。このように多くの県と接しているのは、東北地方の南の玄関口として関東地方や中部地方（北陸）と広く境界を接する地理的条件にあるためです。海岸線については、岩手県のような複雑なりアス海岸が少ないため、面積の広さに比して延長は短めになっています。
問7	答え 3 高速道路などの交通網を利用することで、東京などの大都市圏へ製品を迅速に輸送できるため。	福島県は東北自動車道や常磐自動車道といった高速道路網が充実しており、関東地方という巨大な消費地に近い利点がある。かつて日本の工業は臨海部に集中していたが、高速道路の整備によって、内陸部でも部品の調達や製品の出荷が効率的に行えるようになったため、福島県の高速道路沿いには多くの工業団地がつくられるようになった。
問8	答え 1 仙台市	仙台市は東北地方の経済・行政の中心地（地方中枢都市）であり、周辺地域から多くの人が通勤・通学するため昼間人口割合が100%を超えます。商業やサービス業が中心であるため、自動車産業などが盛んな広島市と比べて工業製造品出荷額は少なくなっています。
問9	答え 2 津軽海峡	青森県と北海道の間に位置し、日本海側と太平洋側の海域を繋ぐ役割を果たしています。北海道と本州を隔てる境界であるとともに、その地下には両地域を鉄道で結ぶ青函トンネルが建設されており、日本の交通網における重要な拠点となっています。
問10	答え 4 多くの企業が支店や営業所を置き、東北地方全体の経済を管理する拠点となっている。	仙台市は「支店経済都市」とも呼ばれ、東北地方全体を管轄する企業の支店や、官公庁の出先機関が集中しています。これにより、卸売業や小売業が極めて盛んになり、年間商品販売額が他県に比べて非常に高い数値を示します。製造品出荷額も高いですが、商業活動の拠点性がより顕著な特徴です。
問11	答え 1 郊外の住宅地において、日中の地域コミュニティの維持や防犯活動の担い手が不足する現象。	昼夜間人口比率が100を下回るということは、その地域が主に居住用として利用されており、昼間は多くの人々が他の地域へ流出していることを意味します。このため、昼間の時間帯に地域に残る人が少なくなり、地域行事の運営や自主防犯活動といったコミュニティの維持が困難になるという課題が生じやすくなります。
問12	答え 4 高速道路を利用したトラック輸送など、交通の便が良いため	高速道路の整備により、内陸部からでも空港や大都市圏へ短時間で製品を輸送できるようになったことが主な理由です。特に半導体などの軽量で高価な製品は、船ではなくトラックや飛行機で運ばれることが多いため、港湾よりも高速道路や空港へのアクセスが重視されます。選択肢にある「港湾が近い」というのは、鉄鋼業や石油化学工業などが集まる「臨海工業地帯」の立地理由です。
問13	答え 4 やませ	1993年は日本全体が記録的な冷夏に見舞われ、特に東北地方の太平洋側では「やませ」の影響が強く現れました。オホーツク海から吹くこの風は非常に冷涼であるため、長期間吹き続けると稲の生育が著しく阻害されます。この年は全国的な米不足となり、海外から緊急輸入が行われるなどの社会現象にも発展しました。